

公表

## 事業所における自己評価総括表(児童発達支援)

○事業所名	チャイルドハートひがなが		
○保護者評価実施期間	令和7年 11月～		～ 令和7年 12月
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 1名
○従業者評価実施期間	令和7年 11月～		～ 令和7年 12月
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 3日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・スタッフがマンツーマンで関わることができている。	・声掛けの数を増やしている。 ・子どもの小さな変化に気付きやすくしている。 ・簡単なルールでの活動をしている。 ・玩具の配置を考え、取りやすい位置に配置している。	・児発の人数も増えたので、集団活動を取り入れていく。
2	・休業日のイベント。	・季節の行事を感じるイベント。 ・年間を通しての活動(クッキングを毎月)を行っている。 ・食育。	・行き慣れていない場所を検討。 ・活動がマンネリ化しないようにスタッフの担当を変更。
3	・個人に合った支援提供。	・個人目標と学習プリント。 ・興味のある物の玩具の追加。	・好きな事から少し苦手な事への興味の幅を広げていく。 ・見やすい、選びやすい収納の工夫。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・平日にはお友達と時間が重ならないことがあり、子ども同士での集団活動ができないことがある。	・活動時間がお友達と合わない。	・サービス提供時間の検討。 ・事業所に慣れてきた時に利用時間の検討。
2			
3			

公表

## 事業所における自己評価総括表(放課後等デイサービス)

○事業所名	チャイルドハートひがなが		
○保護者評価実施期間	令和7年 11月～		～ 令和7年 12月
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18名	(回答者数) 9名
○従業者評価実施期間	令和7年 11月～		～ 令和7年 12月
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 3日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・短時間でも集団活動をする。	・動・静の活動を取り入れている。 ・お集まりの時間に間に合うように、子どもリーダーが声掛けをしている。 ・活動内容を変え、飽きない工夫をしている。	・活動がマンネリ化しないようにする。
2	・休業日のイベント。	・季節の行事を感じるイベントを行っている。 ・年間を通しての活動内容(クッキング)を行っている。 ・食育。 ・休業日の活動を子ども達の意見も取り入れている。	・体を動かす活動(体力作り)を増やしていく。 ・初めてのことに興味をもってもらい声掛け促しを行う。
3	・個人に合った支援を提供。	・個人目標設定、個人個人に応じた学習プリント。 ・個人目標達成でのご褒美(トークン活動)	・視覚教材の取り入れ。 ・SST中の低学年への支援、声掛け。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・事業所が狭い(個室がない)	・面積が狭い。 ・遊びが限られてしまう。	・活動の流れの検討。
2	・新規利用児童の保護者の方との関わり。	・関わる機会が少ない。	・定期的に保護者の方への参加等を促し話し合う機会を設ける。
3			

公表	事業所における自己評価結果(児童発達支援)
----	-----------------------

事業所名	チャイルドハートひがなが					公表日	令和8年 2月 15日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点				
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	6		・広さは適切であるが、活動を分けることができるような個室があっても良いと思う。 ・学校休業日には放デイと同活動になるので配慮が必要。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	3		・送迎との兼ね合いでもう少し現場に人がいても良いと思う。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	3	・児発がよく使う玩具をとりやすい位置に配置されている。				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	5		・確実に別室にすることは難しいと思う。 ・個別の空間が取れる環境が整っていない。			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	0					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0					
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	0					
適切な支援の提供	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0					
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	0					
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0					
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	1					
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0					
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0						

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	1	外活動時にはスタッフ誰もが付き添いできる よう支援している。	・長期の休みの期間でも同じ活動がないよう 色々な下調べ準備がなされていると思う。 ・支援内容等を効率よく話合う時間が必要。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	1		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	2		・打ち合わせができておらず、支援内容を決めるのが遅くなっている時がある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1	・朝礼、終礼時にスタッフ間で共通理解している。 ・記録時に児童の様子等を共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	4		・支援内容等が上手く伝わっていないことがある。 ・地域との交流は少ない。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0	・問題や課題が生じた時には、管理者が学校などと連携をし支援の内容に活かしている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	1		
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	2		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	4		・共同での活動は少ない。 ・外活動等で地域との関わりはあるが、他のこども園や幼稚園との交流は少ない。
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	2		・家庭単位での支援は少ない。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	1		・面談回数が少ない家庭がある。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	3	・保護者参加型の活動プログラムを計画・実行している。	・保護者会や保護者参加活動はあるが、定期的な交流できる場は少ない。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	0		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	1		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	2		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	1		・医師からの指示はない。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	1		・報告数は少ないため、小さなことでも気付けるよう心掛ける。 ・用紙に記入することができていない時がある。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	0		

公表

## 事業所における自己評価結果(放課後等デイサービス)

事業所名	チャイルドハートひがなが				公表日	令和8年 2月 15日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	1	7		・利用人数が多い時には、学習室、プレイルームが狭いと感じる。 ・ボール遊び等をする時に狭さを感じる。 ・安全面で考慮するとスペースがもっと広いと活動の幅が広がる。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	5		・急な休みが出た時や送迎に行っている時等に不足してしまう時がある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	2		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	1	7		・個別の空間を作る部屋がなく、完全に個別にすることが難しい。 ・学習室が満員の時にプレイルームに机を出し学習を行い、遊んでいる部屋と同じ空間になってしまう時がある。 ・静かに学習が進められる部屋があればいいと思う。 ・クールダウン等で使用する個室がない。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	0		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	0		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0		
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	1		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	・長期の休みの期間でも色々な体験が出来るよう下調べ準備がよくなされている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	4		・活動を定めるスタッフが固定化していることがある。 ・支援内容を定めるのが遅くなったり、打ち合わせができていない時がある。 ・平日の活動などをパターン化できればと思う。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1		・気付いた点はその時に話したり記録時に共有したりしているが、毎回はできていない。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	0		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	3		・保健所は連携を図っているが、主治医までできていない。 ・送迎時などでも連携が取れていない所がある。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	2		・学校との情報共有が乏しい。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	1		・卒園した利用児が少ない為。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	1		・学校を卒業した利用児が少ないが、必要に応じて行うようしている。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	2		・地域交流が少ない。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	4		・外活動時に一緒に活動することがある。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8	0		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	1		・保護者との面談が少ない。
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	2		・保護者会など行っている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	1		・面談の数が少ない家庭もある。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6	2	・保護者参加型の活動を計画・実行している。	・保護者参加可能なイベントなどで大人のみでの交流の場はないので機会を作ってみるのも良いと思う。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	・ブログ、インスタグラム、通信に載せる写真などはその都度承諾をとっている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	0	・イベント時には、地域の方々にもチラシの配布等を行い、参加の促しを行うことがある。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0		・保護者から周知の意見が少ないとの意見があった。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	2		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	1		・医師からの指示はない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	1		・報告件数は少ないため、小さなことにも気づいていきたい。 ・紙に記入できていない時がある。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	0			